

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 6年 6月 30日

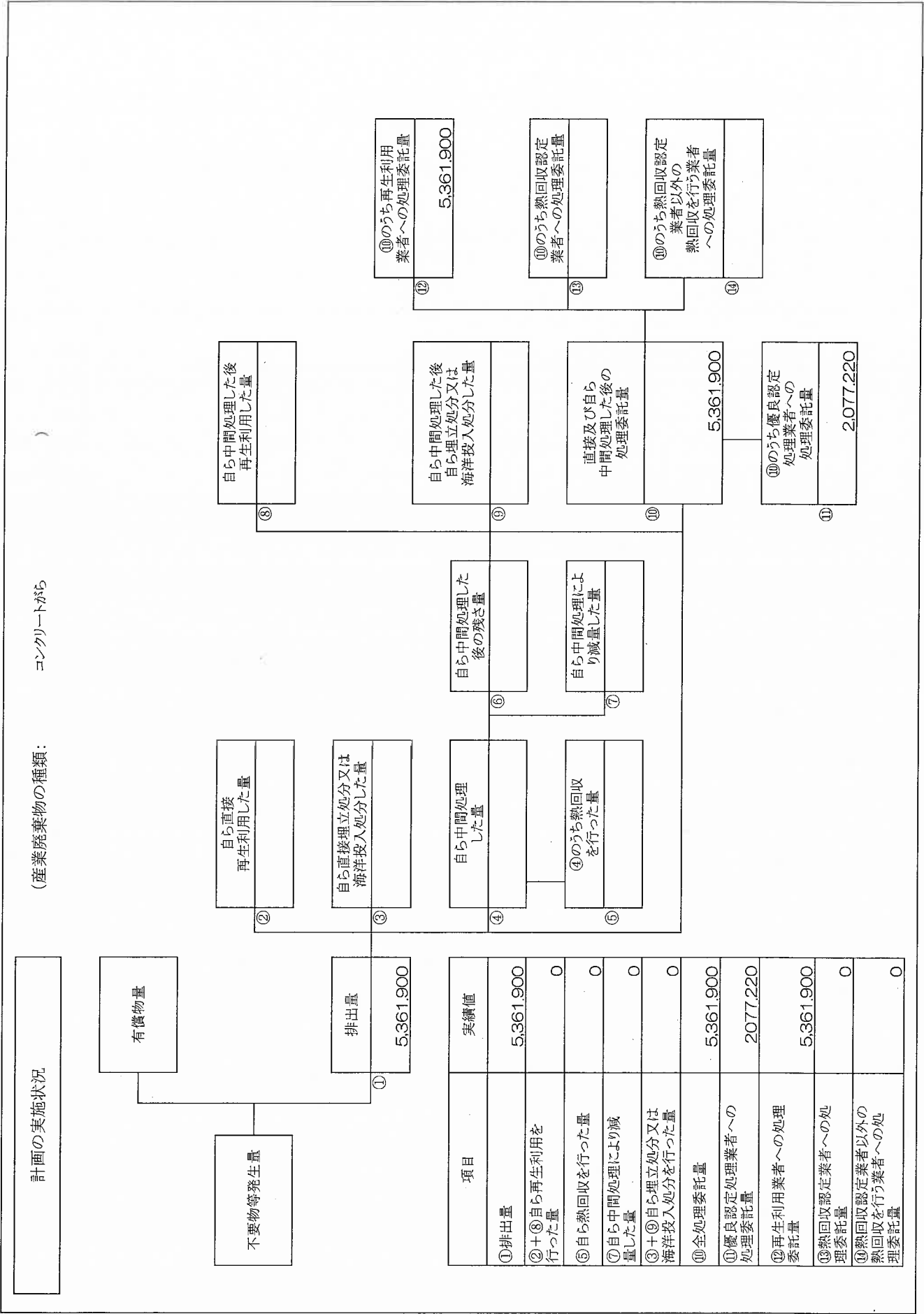
松江市長 殿



提出者
住 所 松江市学園南二丁目3番5号
氏 名 松江土建株式会社
代表取締役社長 平塚 智朗
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 0852-21-3521

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和5年度の産業廃棄物
処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	松江土建株式会社		
事業場の所在地	島根県松江市学園南二丁目3番5号		
事業の種類	建設業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	6,570.000t	全処理委託量	6,570.000t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	5,500.000t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
※事務処理欄			

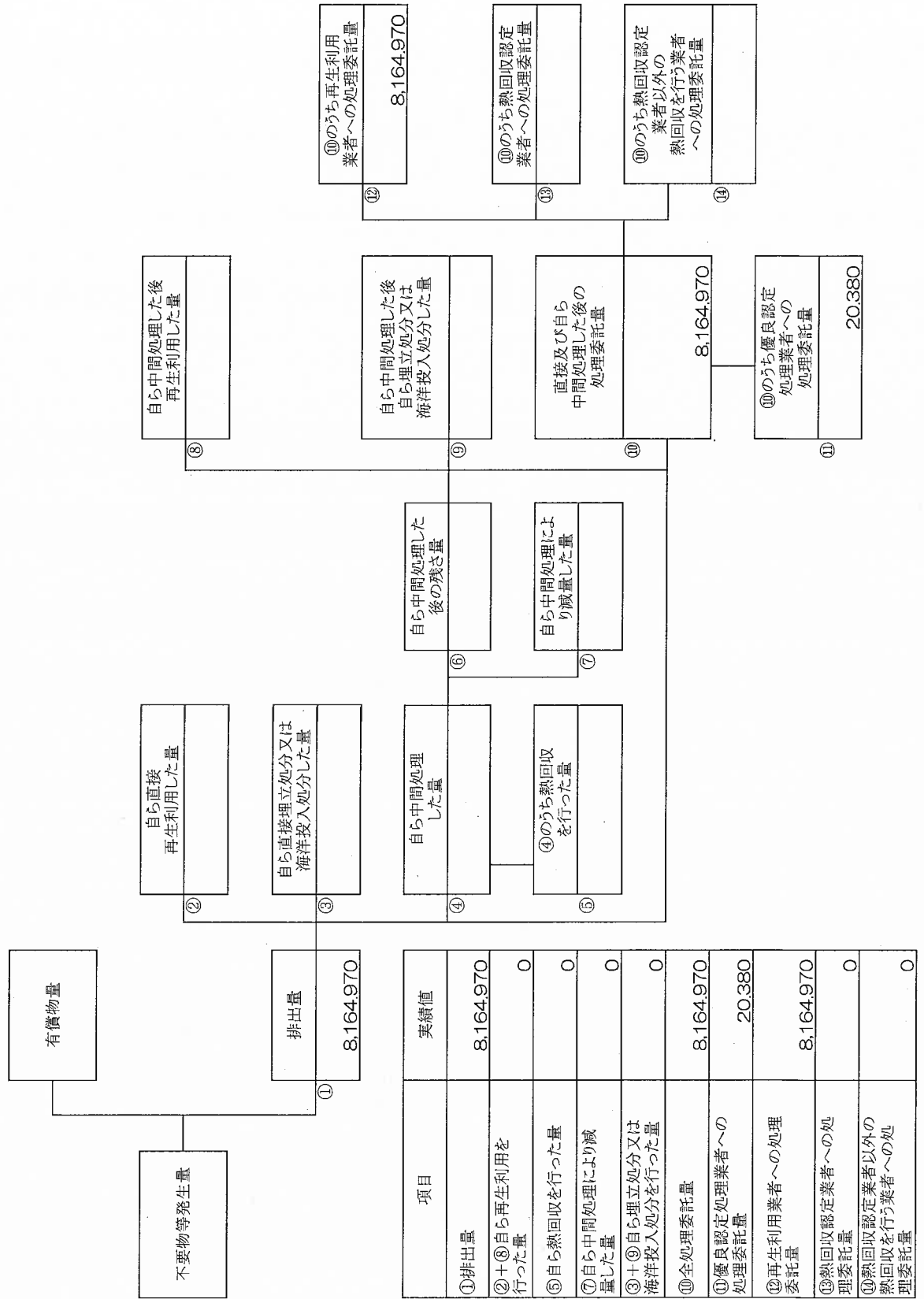


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

アスコンがら

)



計画の実施状況

不要物等発生量

有償物量

排出量

13,973,350

①

②

自ら直接再生利用した量

③

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④

自ら中間処理した量

⑤

④のうち熱回収を行った量

⑥

自ら中間処理した後の残量

⑦

自ら中間処理により減量した量

⑧

自ら中間処理した後再生利用した量

⑨

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

13,973,350

⑪

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

12812,070

⑫

⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

(産業廃棄物の種類:

その他がれき類

)

項目	実績値
①排出量	13,973,350
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑤+⑦自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	13,973,350
⑪優良認定処理業者への処理委託量	12812,070
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

有償物量

不要物等発生量

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック類)

① 排出量 470,340

② 自ら直接再生利用した量

③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④ 自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥ 自ら中間処理した後の残さ量

⑦ 自ら中間処理により減量した量

⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量

⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量 470,340

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量 166,350

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

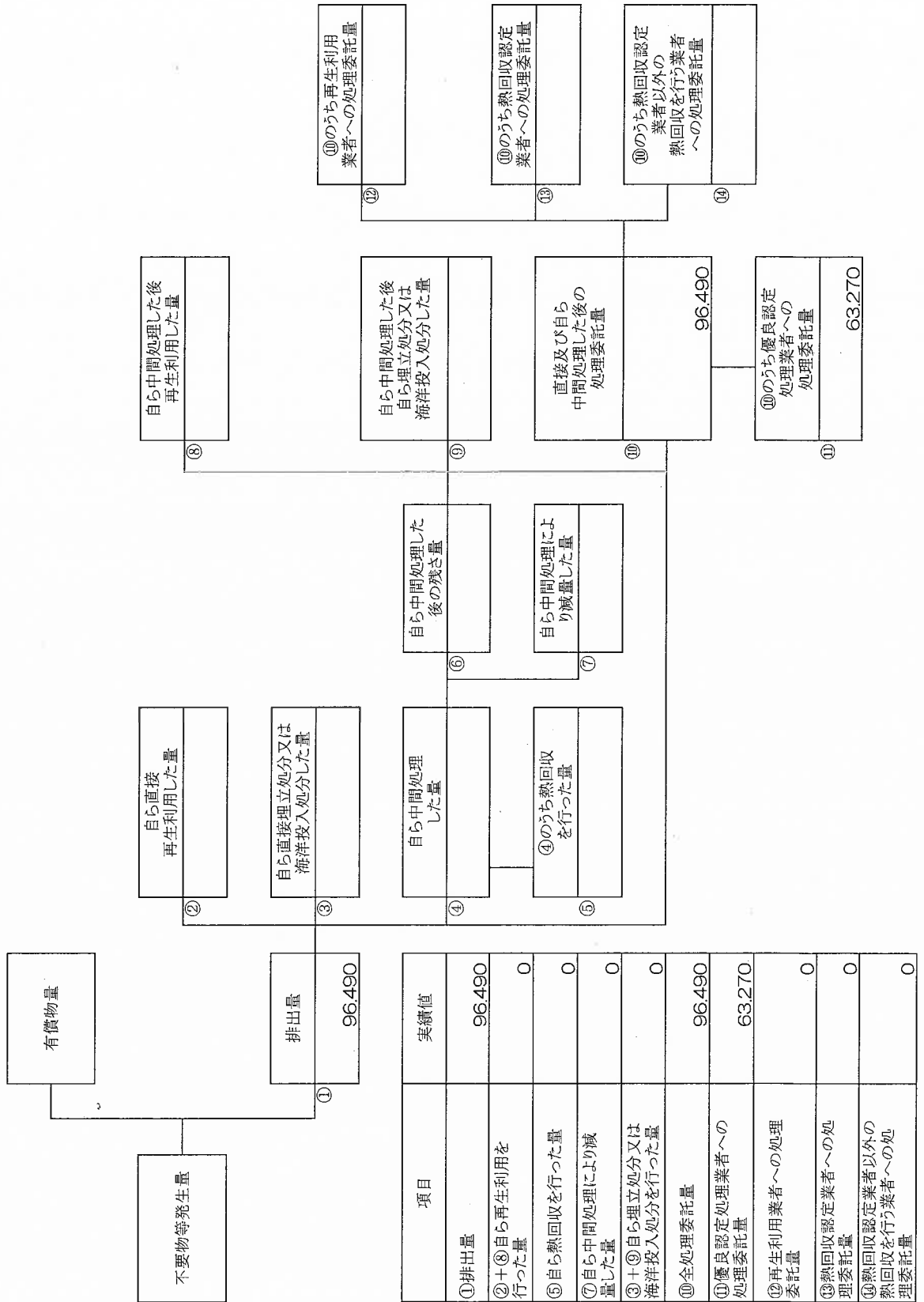
項目	実績値
① 排出量	470,340
② + ⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤ 自ら熱回収を行った量	0
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0
③ + ⑥ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩ 全処理委託量	470,340
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	166,350
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

金属くず

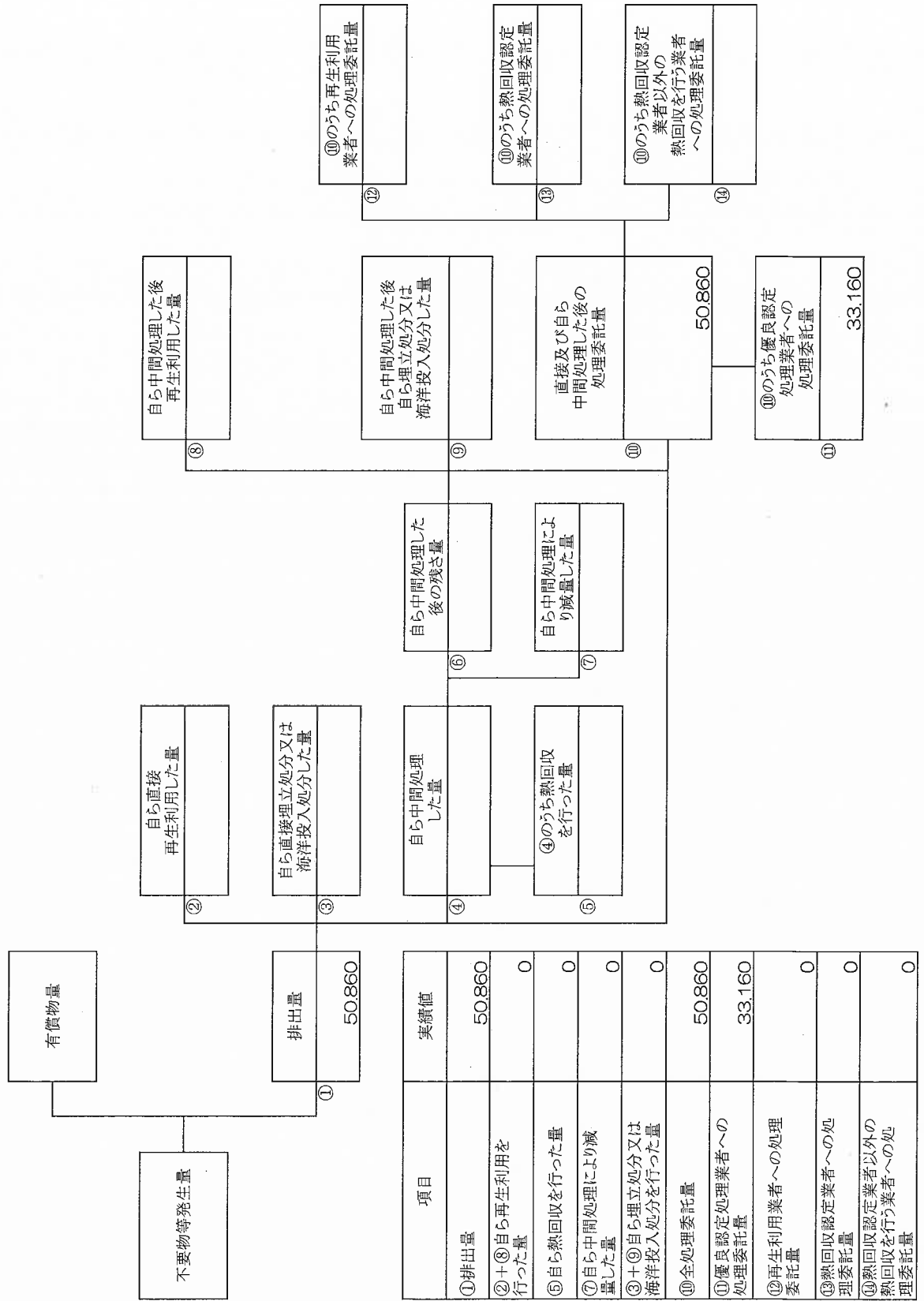
)



計画の実施状況

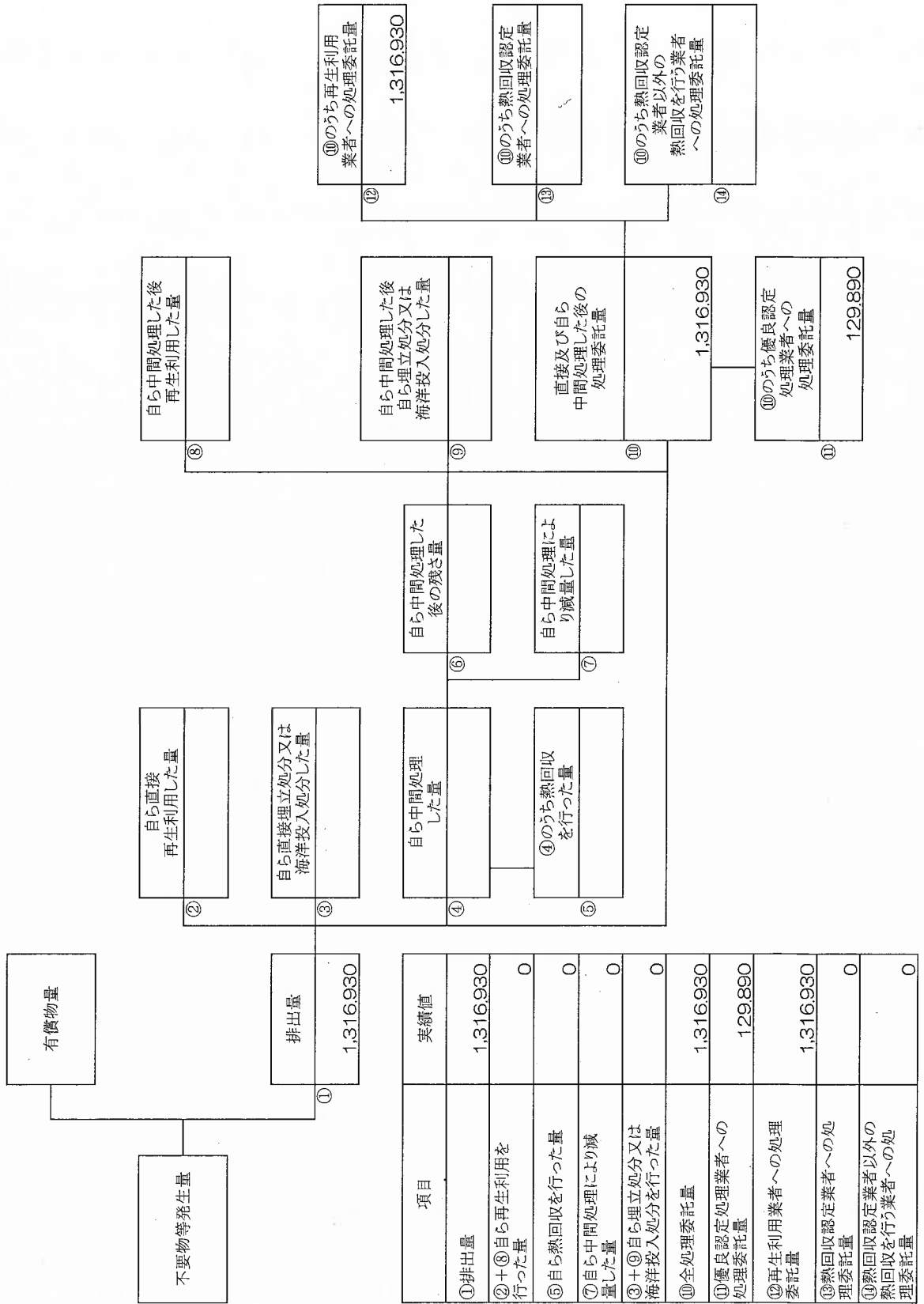
(産業廃棄物の種類:)

紙くず



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 木くず)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 繊維くず)

有償物量

不要物等発生量

① 排出量

0.310

② 自ら直接再生利用した量

③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④ 自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥ 自ら中間処理した後の残量

⑦ 自ら中間処理により減量した量

⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量

⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

0.310

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

0.010

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の業者へ熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
① 排出量	0.310
② + ⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤ 自ら熱回収を行った量	0
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0
③ + ⑥ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩ 全処理委託量	0.310
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.010
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭ 熱回収認定業者以外の業者へ熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 廃石膏ボード)

有償物量

排出量

91,950

①

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

⑩

⑪

⑫

⑬

⑭

⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

18,850

不要物等発生量

自ら直接再生利用した量

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

自ら中間処理した量

④のうち熱回収を行った量

自ら中間処理した後の残さ量

自ら中間処理した後の自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

91,950

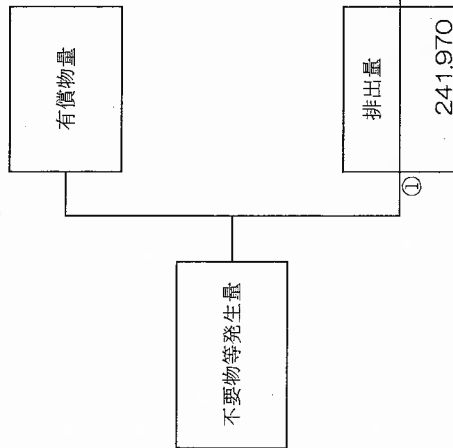
⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

18,850

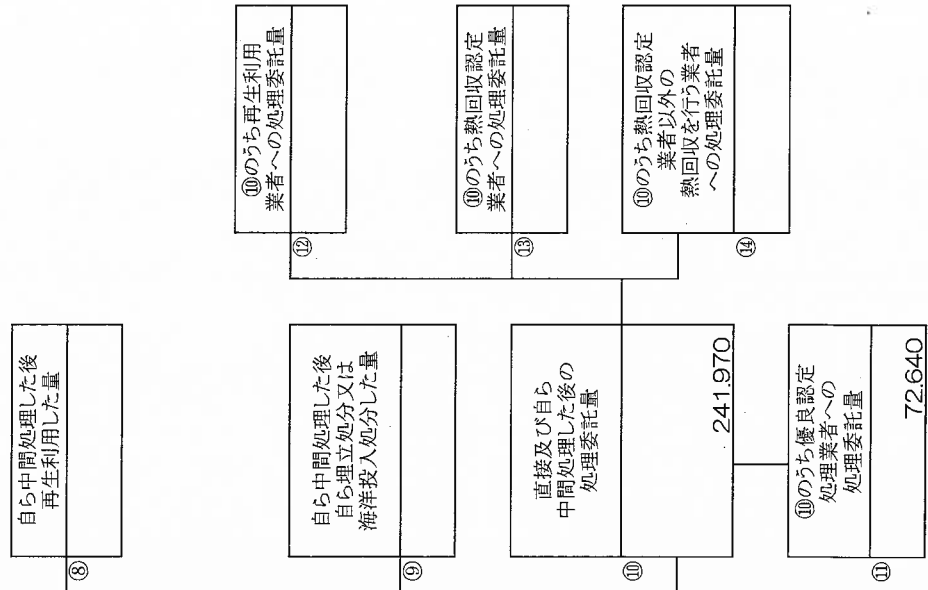
項目	実績値
①排出量	91,950
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑥自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	91,950
⑪優良認定処理業者への処理委託量	18,850
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 混合(管理型含む))



項目	実績値
①排出量	241,970
②+③自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑤自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	241,970
⑪優良認定処理業者への処理委託量	72,640
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：石綿含有産業廃棄物)

有償物量

不要物等発生量

①

排出量

203,260

②

自ら直接再生利用した量

③

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④

自ら中間処理した量

⑤

④のうち熱回収を行った量

⑥

自ら中間処理した後の残さ量

⑦

自ら中間処理により減量した量

⑧

自ら中間処理した後再生利用した量

⑨

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

203,260

⑪

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

0.040

⑫

⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	203,260
②＋③自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑤自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	203,260
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.040
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

不要物等発生量

有償物量

(産業廃棄物の種類：混合(安定型のみ))

①

排出量

69,480

②

自ら直接再生利用した量

③

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④

自ら中間処理した量

⑤

④のうち熱回収を行った量

⑥

自ら中間処理した後の残量

⑦

自ら中間処理により減量した量

⑧

自ら中間処理した後再生利用した量

⑨

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

69,480

⑪

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

39,600

⑫

⑩のうち再生利用業者への処理委託量

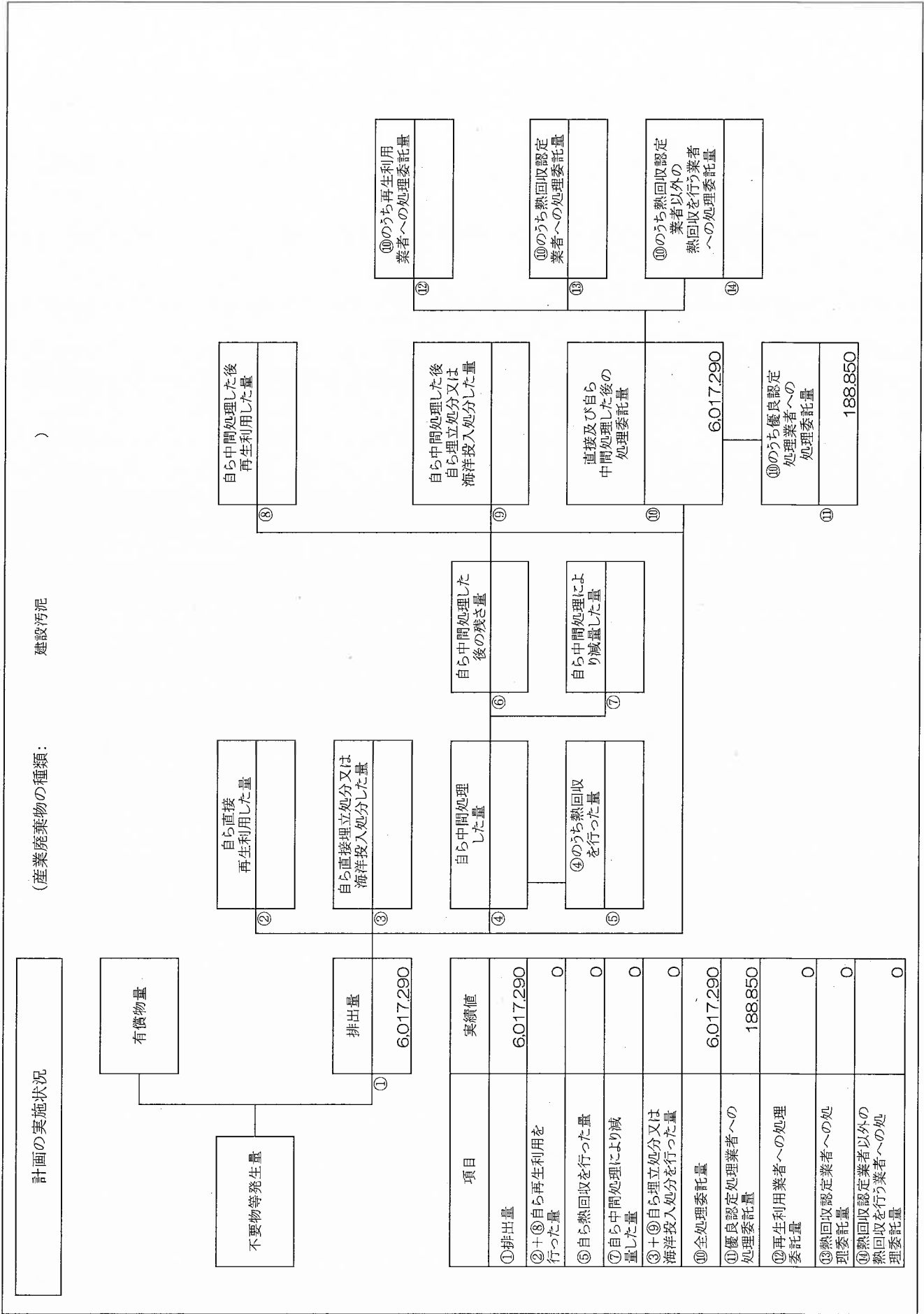
⑬

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	69,480
②+③自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	69,480
⑪優良認定処理業者への処理委託量	39,600
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

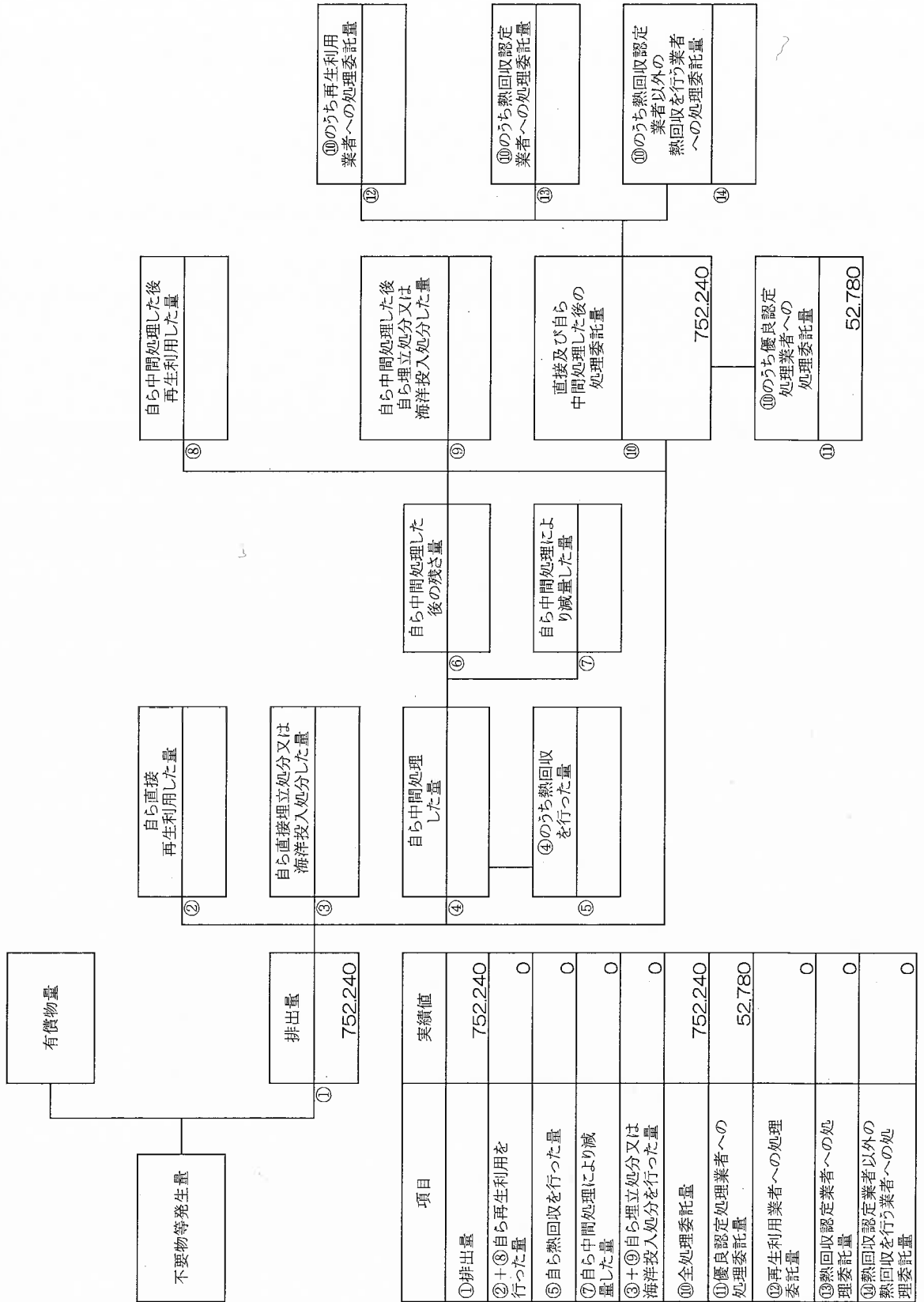


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

ガラス・陶磁器くず

)

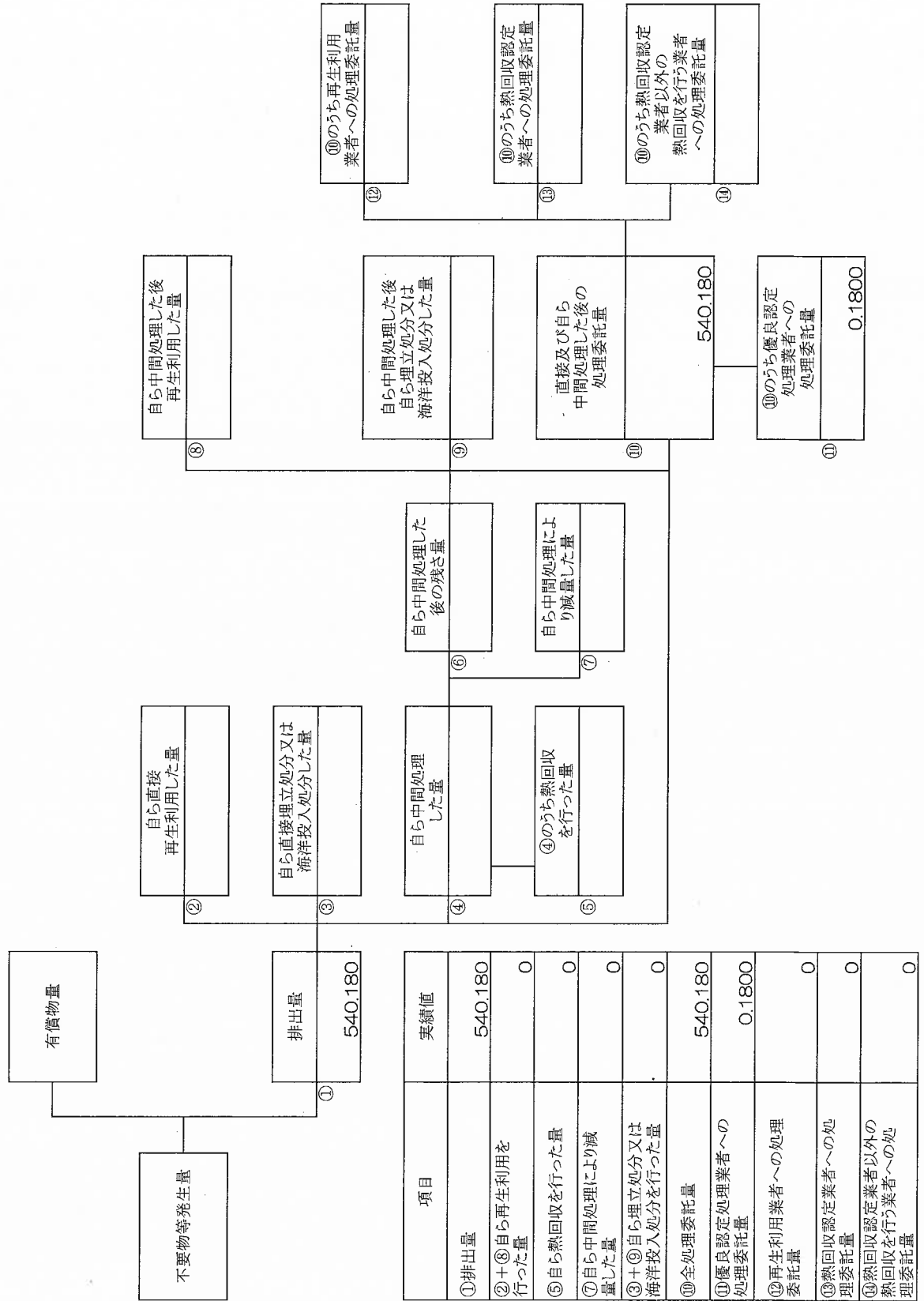


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

廃油

)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 燃えがら)

有償物量

不要物等発生量

①

排出量

2,530

②

自ら直接再生利用した量

③

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④

自ら中間処理した量

⑤

④のうち熱回収を行った量

⑥

自ら中間処理した後の残さ量

⑦

自ら中間処理により減量した量

⑧

自ら中間処理した後再生利用した量

⑨

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫

⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	2,530
②+③自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑤+⑦自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	2,530
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2,530
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄には、何も記入しないこと。

令和5年度産業廃棄物発生量及び令和6年度目標

(t)

産業廃棄物の種類	排出量		全処理委託量		再生利用業者への処理委託量	
	令和5年度 排出量	令和6年度 目標	令和5年度 排出量	令和6年度 目標	令和5年度 排出量	令和6年度 目標
コンクリートがら	5,361.900	2,000.000	5,361.900	2,000.000	5,361.900	2,000.000
アスコンがら	8,164.970	4,000.000	8,164.970	4,000.000	8,164.970	4,000.000
その他がれき類	13,973.350	6,000.000	13,973.350	6,000.000		
廃プラスチック類	470.340	200.000	470.340	200.000		
金属くず	96.490	40.000	96.490	40.000		
紙くず	50.860	20.000	50.860	20.000		
木くず	1,316.930	600.000	1,316.930	600.000	1,316.930	600.000
繊維くず	0.310	0.000	0.310	0.000		
廃石膏ボード	91.950	40.000	91.950	40.000		
混合（管理型含む）	241.970	100.000	241.970	100.000		
石綿含有産業廃棄物	203.260	100.000	203.260	100.000		
混合（安定型のみ）	69.480	30.000	69.480	30.000		
建設汚泥	6,017.290	3,000.000	6,017.290	3,000.000		
ガラス・陶磁器くず	752.240	300.000	752.240	300.000		
廃油	540.180	200.000	540.180	200.000		
燃えがら	2.530	0.000	2.530	0.000		
合計	37,354.050	16,630.000	37,354.050	16,630.000	14,843.800	6,600.000

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄には、何も記入しないこと。